



**STANDARD**

2025年5月13日

各 位

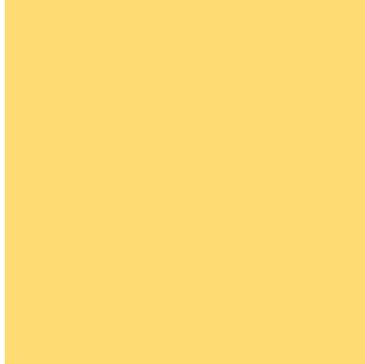
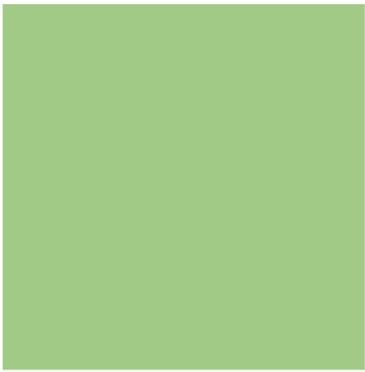
会社名 第一建設工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 内田 海基夫  
(コード : 1799 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役 常務執行役員  
経営本部長 本田 孝  
電話番号 025-241-8111

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025年5月13日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、現状を分析・評価し、改善に向けた今後の取り組み方針についてアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

以上



# 資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について

---



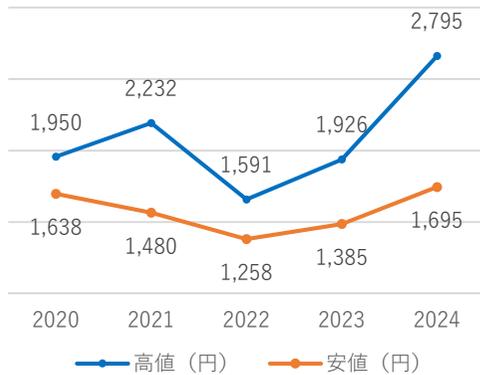
2025年 5月



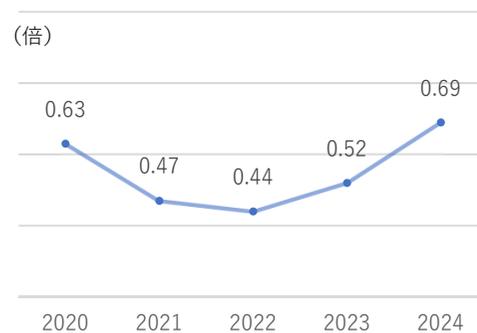
## 分析・評価

- 株価： 2,615円 (2025年3月31日 終値)
- PBR(株価純資産倍率)： 0.69 倍 PBR 1.0 未満であり『割安水準』
- PER(株価収益率)： 9.41 倍 PERは建設業平均11.8倍(JPX 2025.3スタンダード建設業)と比較して低い水準で推移
- ROE(自己資本利益率)： 7.4 % ROEは、8.0%を下回る水準で推移

### 株価

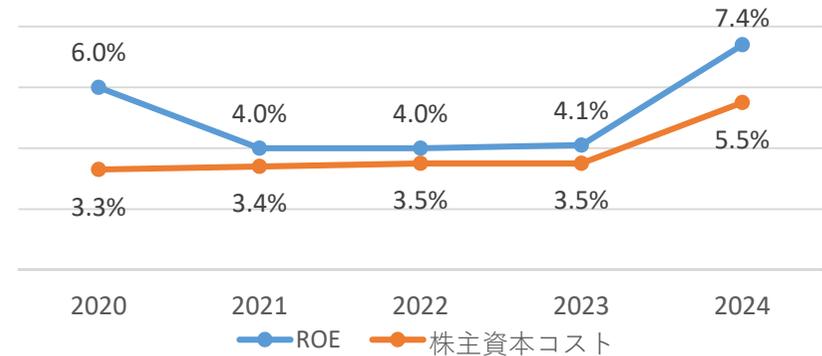


### PBR(株価純資産倍率)

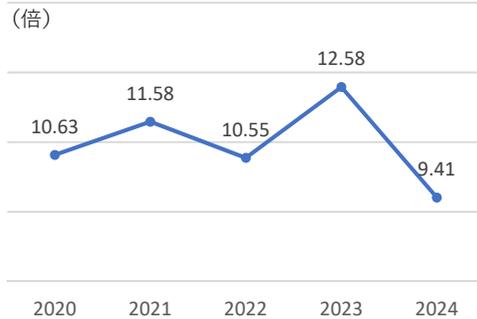


### 株主資本コストとROE

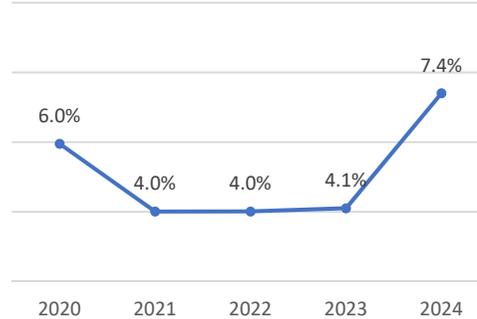
- 株主資本コストは、5.5%程度と認識
- 近年ROEは、株主資本コストより上回っている水準を維持
- 今後、資本コストの上昇も想定し、ROEの更なる向上を目指す



### PER(株価収益率)



### ROE(自己資本利益率)



#### 株主資本コストの算出【CAPM(資本資産評価モデル)】

$$\text{株主資本コスト} = \text{リスクフリーレート} + \beta (\text{感応度}) \times \text{エクイティリスクプレミアム}$$

$$5.5\% = 1.407\% + 0.707 \times 5.88\%$$

リスクフリーレート：2025.02.21 新発10年国際複利終値

$\beta$  (感応度)：当社株価とTOPIXの過去データ(月次)を用いて算出し、次式で修正(修正 $\beta = 2/3 \times \beta + 1 \times 1/3$ )

※統計誤差および $\beta$ 値の回帰性を考慮して $\beta = 1.0$ に近づけるため修正(修正前 $\beta = 0.266$ )

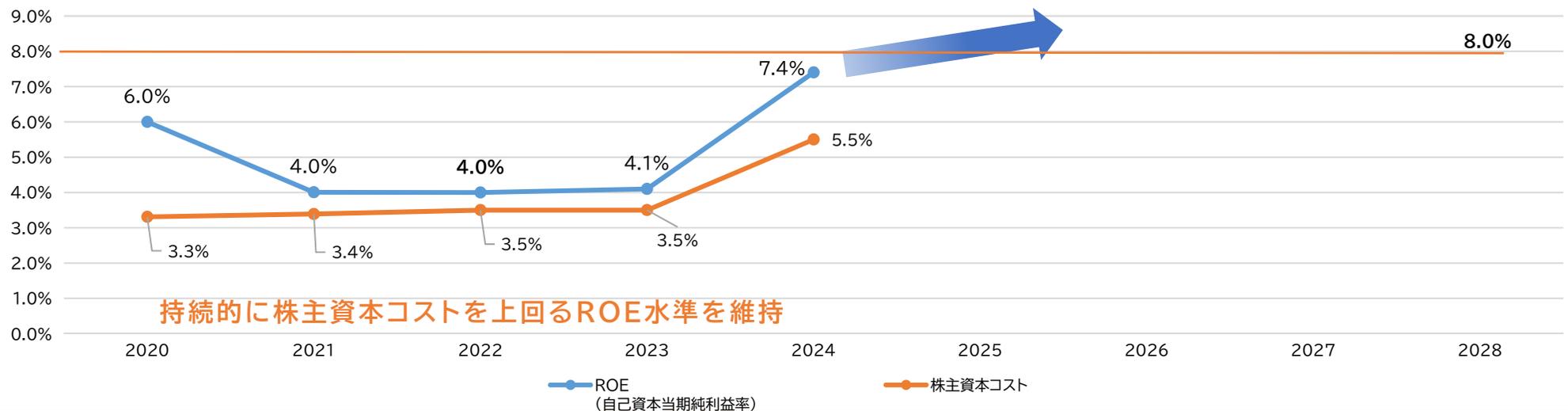
エクイティリスクプレミアム：1972年～2023年の期間数値(5.88%)を利用

# PBR向上に向けた主な取り組み

PBRは、分解すると「 $PBR = ROE(\text{自己資本利益率}) \times PER(\text{株価収益率})$ 」となるため、収益率の向上とともに、成長期待度を高めることでROEとPERの向上を図る。



## ROEと株主資本コスト

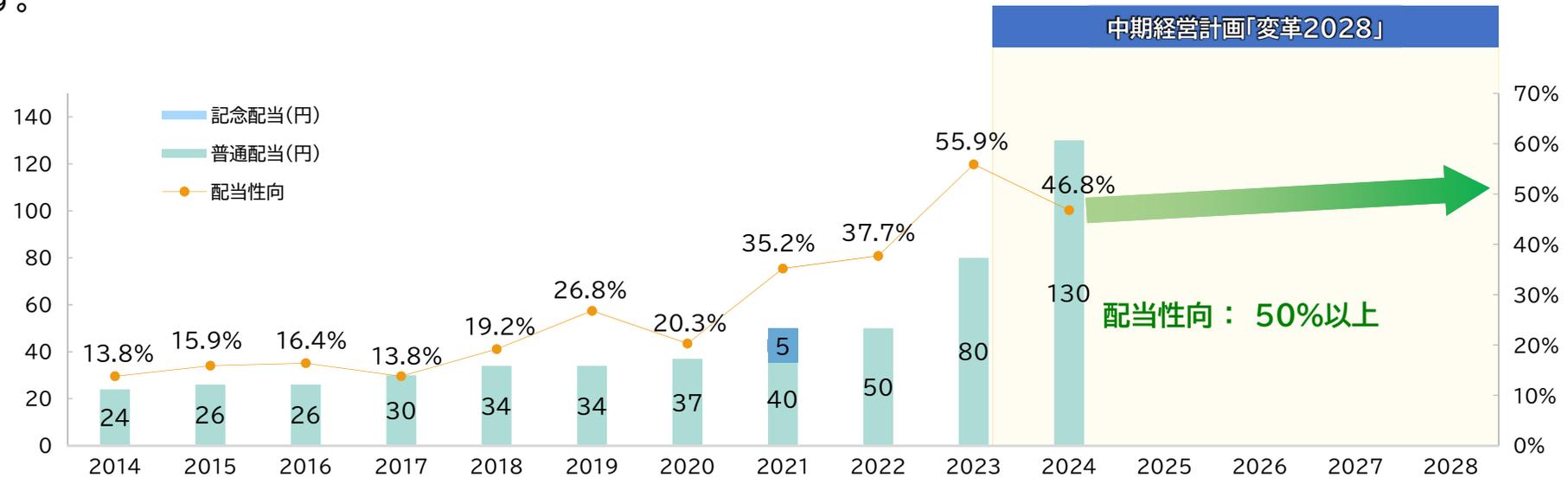


# 株主還元の実

## 基本方針

「変革2028」の最終年度(2029.3月期)には、「配当性向50%以上」を目指します

中期経営計画「変革2028」(以下、「変革2028」)では、株主の皆様への利益還元と企業価値の最大化を重視しております。その取り組みの一環として、累進的な配当による株主還元の実を行い、2028年度(2029.3月期)には配当性向50%以上を目指します。



## 資本構成の最適化に向けた取り組み

「変革2028」の期間中は、「約50億円以上の自己株式を取得」を目指します

資本構成の最適化の取り組みの一環として、各事業年度において総還元性向100%以上を目標とし、約50億円以上の自己株式を取得する予定です。

2024年度 実績：自己株取得： 700,800 株(1,299,886,300円) 総還元性向 102.3%

2025年度 予定：自己株取得： 1,300,000 株(2,850,000,000円) 総還元性向 100.9%